

真下 紀子

はつらつ道政レポート322号 2020年2月2日発行

介護職員の将来推計

25年度までに2万3千人必要



真下紀子議員は12月11日、少子・高齢社会対策特別委員会で介護職員の確保について質問しました。

道の第7期介護保険事業支援計画では、2025年度の介護職員の必要数を11

万7千人と見込んでいます。18年度の実態調査によると介護職員数は9万4千人です。その差、2万3千人の解消が必要となると答えました。

18年度の介護職の離職率は、全産業に比べて高いまま、改善されていません。3年以内の離職も多く、募集しても応募がないなど、深刻な問題となっています。

道は、処遇改善のほか、管理職セミナーなどによる離職防止策、介護助手の導入による負担軽減、中高生等に対するイメージアップ活動などにより、介護人材確保対策に努めると答弁。粟井是臣少子高齢化対策監は、特定処遇改善加算の取得の働きかけを行い、北海道労働局や事業者団体などで構成する介護人材確保対策推進協議会でとりくみを強化すると答えました。

真下議員が特定処遇改善加算申請の柔軟な対応を求めたことで、当初3割程度みこまれた申請は55%に広がりました。しかし、基本的処遇自体を改善することが緊急に求められています。

カジノ疑惑は徹底説明が不可欠

鈴木知事は誘致きっぱり断念すべき

「女性が肩半分出して丁半バクチ」指南
「カジノ法」強行成立の自民・委員長逮捕
贈収賄疑惑で再逮捕

1月14日、東京地検は、カジノを中心とするIRをめぐるとして16年12月にカジノを元司被告（自民党を離党）を再逮捕・起訴しました。

秋元被告は衆院内閣委員長として16年12月にカジノを中心とするIR法案を強行成立させ、17年にはカジノ担当副大臣でした。その間にカジノ参入をめざす中国企業から700万円を超える賄賂を受け取っていたことが判明しました。

シンポで女性蔑視の博打指南



「消費税に頼らない別の道」で財源

秋元被告は、中国企業「500ドットコム」が主催した那覇市でのシンポジウムで講演し、事業者に入りを「指南」しています。講演

では、「最初の年は3カ所くらい、10年後に8カ所くらい」と区域数をあげ、「芸者さん、舞妓さんとは言いませんけど、着物を着た女性が肩半分出しながら丁半バクチを見せっていく、これもパフォーマンスになる」とやくざ映画を伝統的な博打として推奨していました。

北海道も疑惑の舞台

中国企業はカジノを誘致しようとして、国会議員5人に現金を渡したと供述しています。うち2人は自民党の元道議、中村裕之衆議、船橋利実衆議、まるで北海道の留寿都村がカジノ汚職の舞台とようように報じられています。

真下議員は、「カジノをめぐる利権構造が浮き彫りになってきました。不正の関与の徹底説明が必要です。巨額な利権が渦巻くカジノは北海道に誘致してはならないことを証明しています。」と述べました。

環境生活委員会視察

広島県呉市にある大和ミュージアムは年間90万人、100万人の来館者を迎えています。1870年に日本海軍が創設され、造船技術を駆使して戦争に進む中で多くの若者が戦死していった無謀な戦争の歴史と平和の大切さを伝える、呉市ならではの平和博物館です。真下議員の父が乗船訓練をしていた2人乗りの特攻兵器・人間魚雷「海龍」も展示されています。

ボランティアの男性は、「こんなに優秀な人たちがどうして戦争を終結させることを考えなかったのですか」と聞く子どもに答えられなかった逸話を話しました。



JR北海道の経営に国は責任を！道「利用促進」 鉄道のネットワーク機能・優位性示して維持・存続求めよ

道は1月8日、「持続的な鉄道網の確立に向けた基本的な考え方」案を地方路線問題調査特別委員会に報告しました。道はJR北海道への支援を利用促進に限定し、赤字補てんや鉄道施設の維持・更新費用について「地域負担を求めることは受け入れられない」と明記。国とJR北海道に経営の責任を求めています。

経営の責任は国とJRに

真下議員がこれまで主張してきた経営安定基金の運用益不足については極めて長期にわたる低金利によると説明。本州との移動時間の不平等や貨物輸送の重要性。さらに大量輸送・定時性に優れている鉄道の優位性とともに、トラック輸送の1/11という二酸化炭素の低排出などを説明する資料等も添付されました。国鉄清算事業団債務等処理法の改正を見通し、国に支援を求める提言を年度内に決めます。

中核都市つなぐ根室線復旧を

真下議員は、中でも中核都市間等



を結ぶ幹線ネットワークとしての鉄

路の重要性が強調されていることを重視。旭川・帯広間をつなぐ根室線の片道運賃と移動時間について、札幌乗り換えで11、070円、4時間30分、富良野経由では3回乗り換えで4、070円、4時間23分。現在不通になっている東鹿越新得間を復旧させれば4時間弱で移動できることを示して、安くて速い根室線の復旧の必要性を盛り込むように求めました。道は地域での議論をしていると答えるだけで、根室線の存続を求めることを盛り込もうとしません。

新幹線の乗車率向上を

北海道新幹線の年間100億円近い赤字の路線が盛り込まれていないと指摘し、JR北海道の徹底した経営努力を前提にと繰り返すなら、32%から24%に落ち込んでいる新幹線の乗車率の目標を示して引き上げることを盛り込むべきだと主張しました。道は利用拡大にとりくんでいると答えるだけで、目標について言及しませんでした。

人件費が2/3まで減少し、職員中途退職は過去最高という実態を示して、経営効率一辺倒ではなく安全運行できる人員確保と、社員が希望を持てる会社にする必要があると主張しました。

JR北海道は信頼回復を

JR北海道は「単独では維持困難」とする路線のうち、黄色線区8区間のリーフレットを作製しています。しかし、利用者は激減、収支が赤字と経営の厳しさを前面に出し、富良野線は「50年前に比べて半減」と強調しています。

真下議員は窮状の訴えだけでなく、JR自身の経営姿勢を見直して住民との信頼関係を構築する必要があるとのべました。



今年法改正に向け大事な年。地方路線の維持・存続めざして奮闘していきたいと抱負をのべています。

2020年 新年からダッシュ！

イラン要人の殺害に抗議
自衛隊の中東派遣は撤回を！！



議会日程のお知らせ

2月4日 常任委員会 予定
5日 特別委員会 予定

第1回定例会は2月27日から3月25日まで28日間の予定です。

一般質問 菊地葉子議員
予算特別委員会 真下紀子議員